



マグニチュードと震度について

マグニチュード

地震のエネルギーの大きさを表し、**地震の規模**を示します。

震度

ある場所での**揺れ**の大きさを表します。

地震による揺れの大きさは、以下の項目等によって変わります。

- ①マグニチュード
- ②震源の位置（「近い・遠い」、「浅い・深い」等）
- ③お住まいの地域の地盤の性質（「軟らかい・硬い」等）

裏面の「揺れやすさマップ」でご自宅の地域の地盤の揺れやすさを確認してみましょう！



マグニチュードが大きな地震でも、「震源が遠い」、「震源が深い」あるいは「地盤が硬い」場合は、揺れが小さくなります。

震度と揺れの状況

震度は、気象庁が定めた震度階級によって表現され、10階級で示されます。この地震ハザードマップで想定している地震は「茨城県南部地震」と「関東平野北西縁断層帯地震」です。これらの地震が発生した場合、市には**震度5弱、5強、6弱、6強**が想定されています。裏面の「震度マップ」や「建物の倒壊危険度マップ」で、あなたのお住いの地域に想定されている地震ごとの**揺れ**や**建物倒壊の危険度**等を確認してみましょう。

弱い

震度5弱

- つり下げている物は激しく揺れ、棚にある食器類等が落ちることがあります。
- 多くの方が、身の安全を守ろうとします。一部の方は、行動に支障を感じます。
- 不安定な置物の多くが倒れ、家具が移動することがあります。
- 窓ガラスが割れて落ちてくることがあります。また電柱が揺れるのが分かります。



震度5強

- 自動車の運転が困難となります。
- 多くの方が行動に支障を感じます。
- 棚にある食器類等の多くが落ちます。
- テレビやタンスが台から落ちることがあります。
- タンス等重い家具が倒れることがあります。
- 補強されていないブロック塀の多くが崩れることがあります。
- 固定が不十分な自動販売機が倒れることがあります。



震度6弱

- 固定していない重い家具が移動、転倒することがあります。
- かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下します。
- 立っていることが困難になり、重い家具も移動・転倒します。
- 開かなくなるドアが多くなります。
- 耐震性の低い木造建物では、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがあります。



震度6強

- 立っていることが困難になり、飛ばされることがあります。
- 固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒します。
- 戸がはずれて飛ぶことがあります。
- 多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下します。
- 補強されていないブロック塀のほとんどが崩れます。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなります。



強い

揺れやすさ危険度